

那須高校タイム

創立記念講演「おもいやりをつなぐ」

やなせたかし先生の教えを今に



那須高校は、令和8年6月2日に創立66周年を迎え、同日、創立記念式典を執り行いました。式典後には、美術作家の米倉万美氏と、グラフィックデザイナーの真柄奈津子氏を講師にお迎えし「アンパンマンがおしえてくれたこと」と題した記念講演を開催しました。

昨年放送されたNHK連続テレビ小説「あなばん」の題材にもなっている、アンパンマンの作者・やなせたかし先生のアシスタントを務めた米倉さんは、創作の現場での日々を振り返りながら、作品づくりへの思いや、やなせ先生の温かな人柄に触れるエピソードを語ってくださいました。

講演は、真柄さんとの対談形式で進められ、会場は終始和やかな雰囲気になりました。「何のために創るのか」「人を思いやる心の大切さ」といったメッセージは、生徒たちの心にも深く響き、一人ひとりが真剣な表情で耳を傾けていました。

米倉さんには、「那須まち人物図鑑2」にもご登場いただいております。今回の講演も人物図鑑をきっかけに生まれた縁の一つです。那須高校の教育活動は、地域の皆様とのつながりなくして成り立ちません。地域で活躍する多くの方々との出会いが、生徒たちの学びを豊かにし、新たな夢や目標を育んでいます。これからも地域とともに歩み、生徒たちの未来につながる教育活動を大切にしてまいります。



伝統工芸を学ぶ 串人形の絵付けを体験

民芸工房「ねこじやらし」さんを講師にお迎えし、本校で串人形の絵付け体験を実施しました。

串人形は、江戸時代に広まった人形玩具の一つで、人形浄瑠璃(文楽)の首(かしら)をもとに作られた玩具が始まりとされる伝統工芸です。素朴で温かみのある表情が特徴で、古くから多くの人々に親しまれてきました。

生徒たちは講師から絵付けのポイントや色使いの工夫を教わりながら、一つひとつ丁寧に筆を進め、それぞれの個性あふれる作品を完成させました。教室には真剣に制作に向き合う姿や、完成した作品を見せ合う笑顔があふれ、ものづくりの楽しさを実感する時間となりました。

地域に受け継がれる伝統文化に触れ、その歴史や魅力を学ぶとともに、地域の文化を未来へ受け継ぐことの大切さについて考える貴重な機会となりました。

(コーディネーター 佐藤達夫)

栃木県立那須高等学校

那須町大字寺子乙3932-48 TEL / 0287(72)0075

tochigi-edu.ed.jp/nasu

「那須高校タイム」は生徒会の生徒と
高校魅力化コーディネーターが共に作るページです